



向谷倶楽部の挑戦

■ 向谷 実

情報のやり取りとは発信と受信であると、向谷倶楽部の活動以前は思っていました。ところが Twitter や動画配信サイトの USTREAM などを作り始めて、そのほかに拡散という手段が存在することに気づかされたのです。こんないい曲がある、こんな素晴らしい意見がある、こんなひどいことがある、これら誰かに伝えたいことが簡単に行える環境が世の中に瞬く間に広がっていきました。そのような状況の中で、私が向谷倶楽部で始めた音楽制作過程の完全可視化が多くの皆さんの注目を浴びるようになったのです。恐らく向谷倶楽部っていうのが面白いことやっているよ的な拡散が行われたのだと思います。正直私自身こんなに制作過程のような地味な作業が皆さんの興味をひくものだとは想定外なことでした。というかそれ自体が立派なコンテンツであることにまったく気がついていなかったのですね。主に USTREAM を通じて行われた公開レコーディングの様子は、ドラムセットの組み立てやマイクのセッティングなどでも数千人という人が同時視聴され、2011年8月時点の私の USTREAM チャンネルである minorumukaiya は合計視聴者数が140万人を超えるまでになりました。

ここで再度向谷倶楽部の説明をいたしますが、Twitter や USTREAM 上に存在する私の課外活動のようなもので、参加されている方は皆さん私を部長と呼んでくれます。これは演奏家として実際に楽曲制作に参加されている方も同様に呼んでくれるので、本当に部活っていう感じで運営しています。

■ 向谷 実
向谷倶楽部 部長

1956年生まれ東京都出身。日本を代表するフュージョンバンド「カシオペア」に20歳よりキーボーディストとして加入。2001～10年名古屋芸術大学音楽文化応用学科の専任教授。2010年からは、積極的にTwitterとUSTREAMを活用。レコーディング現場の可視化等を試みている。熱狂的な鉄道ファンでもある。 <http://www.mukaiyaclub.com/>



さてここからが本題です。向谷倶楽部の挑戦と題しているのは、実はこうやって皆さんのご覧になっている前で制作した楽曲は、場合によっては制作完了後数時間で iTunes Store 等でダウンロードにて購入できる、つまり産地直送ができたり、著作権隣接権を向谷倶楽部が管理していることで、JASRAC と包括契約している動画配信サイトに自由にアップロードできるとか、拡散につながることを可能な限り自由にしています。しかし、この8月30日にこれら向谷倶楽部が1年間に制作した楽曲を「向谷倶楽部の奇蹟」として2枚のCDとDVDに収めて発売した際に、JASRAC 登録楽曲にしたことで、個人の非営利な Web サイトやブログにて自由に拡散紹介をしていただくことができなくなりました。そこで私はまったく新しい方法を考えついたのです。今回の販売方法は完全にネットでの販売で、お名前等の情報が1枚1枚に関連付けられており、さらにご購入者にはそれぞれ番号のついた部員証をお渡ししています。その部員証の番号で自分の使用したい URL を申請していただき、違法な音源などが使用されていないことを確認したのち、私の方で JASRAC に申請し、非営利の場合の使用料を私の会社音楽館で全額負担します。結果的には購入された方はプラス著作権の利用権も得ることができるということになります。確かにこの負担は厳しいですが、自由に拡散していただくためにはこの方法しかありませんでした。以上が向谷倶楽部の挑戦です。今後の展開を皆さんお楽しみに。まだまだ挑戦は続いています。

